

## 2018～2023年度(総括) 分野別計画進捗等報告書

体系番号  
01010101

## 1.計画名称

茅野市地域福祉計画

## 2.計画全体の進捗状況及び総合評価

進捗評価	おおむね順調	説明	(R5評価)「お互いに支え合いその人らしく暮らせるまちづくり」という理念の基、保健・医療・福祉の連携、相談支援のネットワークの構築、地域での支え合いの仕組みづくり等を、各種の業務において実践し継続している。 (総括評価)新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、訪問活動、福祉21茅野との協議などが継続され、また、新たな取組も始まったことは評価できる。
今後の重点化施策番号	2	説明	保健福祉SCは市民が安心して暮らせるための拠点として、個々の生活に關わる相談や地域課題への対応を実施しているが、今後ますます多様化する課題に対応していくため、保健福祉SCの体制強化を図り、多機関協働やアウトリーチを通じた支援活動を充実させる。また、福祉21茅野との協働により外出支援等における課題解決に向けた取り組みを進める。

## 3.各施策等における評価内容と改革改善

区分	施策名称	進捗評価	総合評価		改革改善の具体的な内容
			主な取組内容や成果	課題	
1	一人ひとりが主役となり、「共に生きる」ことができるまち	おおむね順調	(R5・総括評価共通)福祉21茅野のフレイル認知症予防ワーキングでは、玉川ケヤキフェスにて健常ブースを開設し、認知症予防のためのイベントを開催した。総括として、市民一人ひとりの健常寿命の延伸と生きがいある人生を実現するために、地域で取り組む上での具体的な課題が明確になった。	(R5・総括評価共通)フレイル認知症予防プログラムの実施にあたり、モデル地区を定めて開催を進める予定であるが、具体的な進め方や人材の確保、開催時期などの多くの課題があるため、継続して検討する。	フレイル認知症予防プログラムの実施については、認知症中央病院がワーキングの中心となって、具体的な活動内容や課題の洗い出しを行い、実現に向けた検討を継続する。
2	生涯にわたって健やかに、安心して暮らせるまち	おおむね順調	(R5・総括評価共通)保健福祉SCでは、社協のCSWを中心に、保健師やケースワーカーが協力しながら訪問活動を実施した。総括として、保健福祉SCは市民が安心して暮らせるための拠点として機能しており、相談業務や訪問活動を継続的に実施できている。	(R5・総括評価共通)地域課題として、個別支援を通じて見えてくる課題の他、地区の様々な会議や活動に参加すること得られる情報の中から見えてくる課題があるが、保健福祉SCで対応できる範囲を超えている内容も多いため、十分に対応できるよう、庁内との連携を深める必要がある。	個々の生活に關わる相談や地域課題と思われる内容について、社協のCSW、保健師、ケースワーカーが協力しながら、相談内容に応じて庁内とも連携を図り、適切な窓口へつなぐ。
3	ふれあい、学びあい、支えあいのあふれるまち	おおむね順調	(R5評価)茅野市社協ボランティア・まちづくりセンターを中心に、「地域を育む」という意識を持って、誰もがお互いに支え合える地域づくりを推進した。 (総括評価)協会への補助金支出により継続的な福祉教育活動を実施することができた。	(R5・総括評価共通)地域におけるボランティアの推進、福祉教育の推進に向けた取組の活性化を図るために、茅野市社協ボランティア・まちづくりセンターと地区コミュニティセンターとの連携をうまく機能させる必要がある。	茅野市社協ボランティア・まちづくりセンターをゆいわーく茅野の1階へ移転したことで、地区コミュニティセンター等との連携を強化していく。
4	すべての人にとって豊かで快適に生活することができるまち	おおむね順調	(R5評価)福祉21茅野の外出支援ワーキングでは、新しい公共交通(のらざあ)の障害者利用実態を把握するためのアンケートを実施した。また、そのアンケート結果を新公共交通検討会の中で共有した。 (総括評価)地域で快適に生活するための課題への取組を継続的に実施することができた。	(R5・総括評価共通)のらざあの利用について、障害者の外出支援という視点で検討を進めているが、のらざあ以外の外出支援に関する課題についても検討していく必要がある。	障害者がのらざあを利用するためにはどういった配慮が必要となるかを検討し、外出支援ワーキングとしての意見を新公共交通検討会へと提言できるよう活動を進める。また、のらざあ以外の外出支援の課題についてもワーキングの中で検討を進める。
5					

※5つ以上の場合は裏面へ

## 4.関連市民団体等の主な意見及び対応のポイント

関連市民団体等名称	主な意見	市の考え方や対応など
関連市民団体等名称 福祉21茅野	保健福祉SCとして地域ケア会議がうまく機能するための検証を行う必要がある。第3次ビーナスプランのふり返りシートは第4次に生かすための参考資料として活用していきたい。	第3次ビーナスプランのふり返りとして、「課題に向けた施策」ごとに、行政、社協、福祉21茅野における主な活動内容と課題の評価を行った。今後、この資料を第4次の策定時に活用していく。
開催回数 4		
参加延べ人数 67		
関連市民団体等名称 茅野市地域福祉計画検討会		
開催回数 1		
参加延べ人数 1		
関連市民団体等名称 茅野市地域福祉計画検討会		
開催回数 1		
参加延べ人数 1		